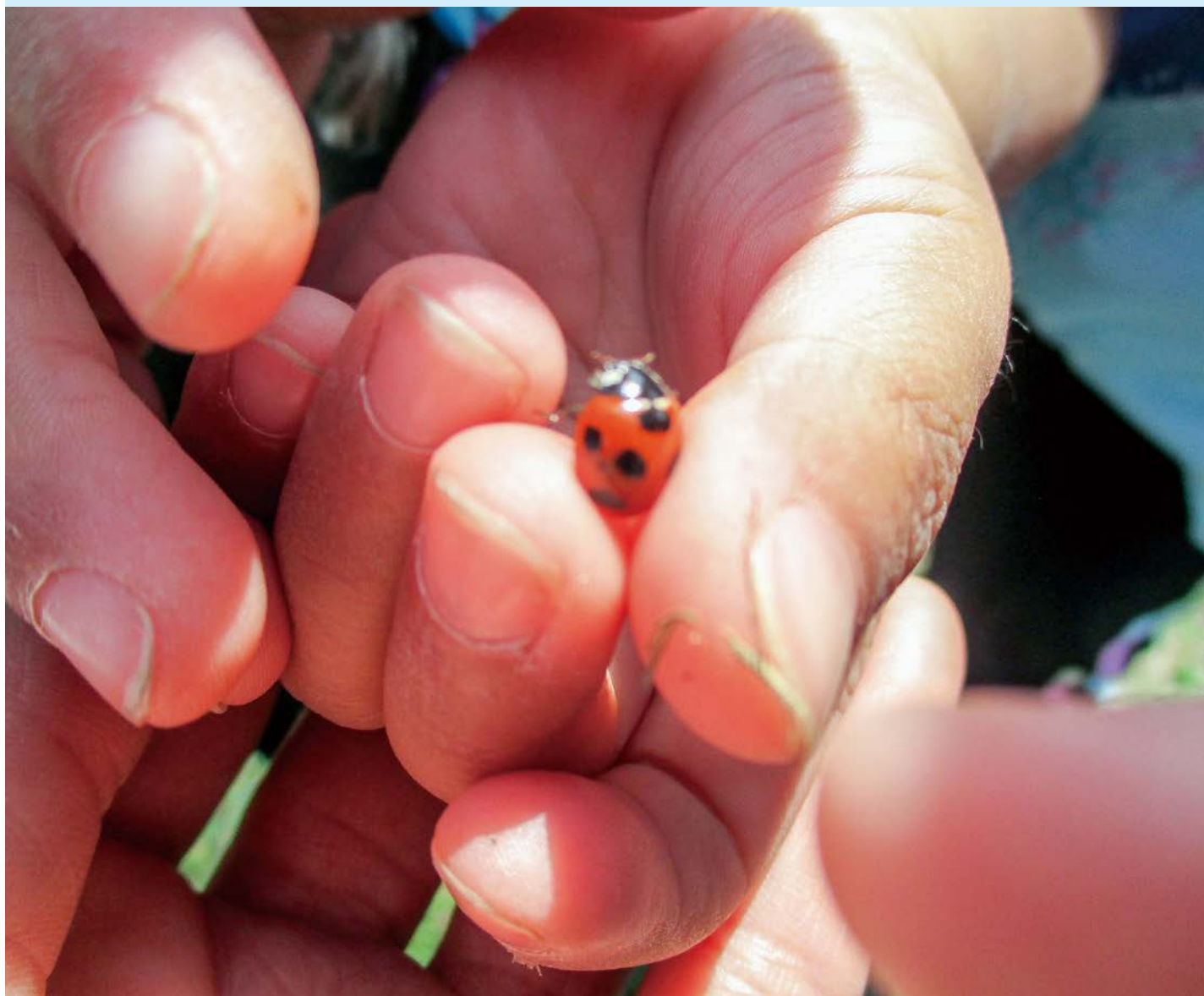




かたらい



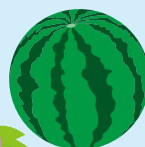
見つけたよ！

宝木保育園

園庭から一歩足を踏み出せば、四季折々の表情を見せる木々や花々が広がっています。昆虫や小動物との触れ合いは、子どもたちの好奇心を刺激し、小さな命への優しい心を育みます。

今日も園庭で遊ぶ子どもたちの中に熱心に虫探しをする子が…。見てみると、小さな手の中にキラキラした目と大きな声で、「てんとう虫見つけたよ！」と教えてくれました。この写真はその時の一枚です。

子どもたちが自然の中で遊び、学び、そして命の尊さを感じながら、未来へ向かって羽ばたけるよう、生きる力を育んでいきます。



No.106
2025.7.1



Instagram
発信中！！



発行

社会福祉法人 とちぎ健康福祉協会

～わたしがつくる みんなでつくる

笑顔あふれる とちぎ健康福祉協会～

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

TEL (028)622-2846 FAX (028)621-1422

【U R L】 <https://www.kenkoufukushi.com>

【E-mail】 kenkoufukushi@arion.ocn.ne.jp

行事あれこれ

端午の節句

わかさ

今年の端午の節句の行事では、鯉のぼりを購入しました。また利用者の方達が端午の節句の理解を深め、季節の行事を楽しめるように、端午の節句の由来に関するプリントと鯉のぼりの製作キットを配りました。

鯉のぼりは四月中に施設内に展示し、風のある日は空で泳いでいる姿を見せてくれました。

鯉のぼりを見ることで「もうすぐこどもの日だね」「風があるから元気に泳いでいるよ。」等、会話のきっかけになりました。季節の移ろいを感じ、会話が増えたため、鯉のぼりを購入してよかったなと心から思いました。家に大きな鯉のぼりを飾る家庭も減り、近所で鯉のぼりを見ることも少ない昨今、季節の行事を大切にする良い機会になりました。



障害者スポーツ大会

桜ふれあいの郷

五月二十五日、第二十一回栃木県障害者スポーツ大会が開催されました。桜ふれあいの郷からは三十一名の利用者の方が参加し、競技に臨みました。当日の朝は小雨が降っていましたが、競技が開始する頃には天気も回復し、選手の方を後押ししてくれているようでした。

競技が始まると、緊張もありましたが、皆さんが真剣に楽しそうに競技に臨む姿が印象的で、競技が終わった利用者の方にお疲れさまでしたと声をかけると、満面の笑みで「頑張ったよ。」と答えてくれました。中には、「風が邪魔をしてうまくいかなかった。」と残念そうにしている利用者の方もいましたが、「次の競技で頑張ろう!」と利用者の方同士や職員で声を掛け合い、桜ふれあいの郷一体となって頑張りました。競技以外にもバルーンアートをもったり、バ



移動動物園

宝木保育園

五月二十六日に宇都宮動物園から、犬、ウサギ、モルモット、フェレット、インコが宝木保育園に遊びに来ました。動物に興味を示し背中や体をなでる子、興味はあるけれど触れることは少し怖い子、見て楽しむ子と様々な姿が見られました。四つのブースに分かれていたので、自由に出入りをしながら触れ合うことができました。

○歳児クラスは保育者に抱かれながら近くで見たり、動物の声を聞いたりする体験ができました。限られた時間でしたが、友達と一緒に動物に触れることを喜び、楽しむ姿や笑顔が見られたので、また実施したいと思います。



ねんりんピックとちぎ2025

生きがいつくり課

「ねんりんピックとちぎ2025」はスポーツ・文化交流大会として四月十七日から約一か月半、十五種目が宇都宮市を中心に県内の十二箇所の競技会場で開催されました。

一部の種目は、競技人口や参加希望者の減少によりやむなく開催を中止しましたが、多くの参加者が熱戦を繰り広げ、いきいきとした活躍をみせてくれました。

また、シルバー作品展は、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門に合計百五十七点と多くの応募があり、五月二十八日から五日間にわたり会場であるとちぎ健康の森シルバー大学校中央校に展示されました。年輪を重ねた熟練の技巧が駆使された作品や、フレッシュな感性に目を見張る作品、作者の想いを感じる温もり溢れた作品な





とちぎ健康の森では、健康づくりを支援する取り組みとして、ウォーキングコース沿いに新たに健康器具を設置しました。今回設置された器具は、上半身を伸ばす器具や、脚の筋力を鍛えるステップ台などストレッチや軽い筋力トレーニングを目的としたもので計十基を配置し、幅広い年代の皆さまにご活用いただけます。ウォーキングの前後や途中のタイミンで気軽に身体を動かせるよう工夫されており、日常的な健康増進に役立つ内容となっています。

三月二十五日

とちぎ健康の森に新設備

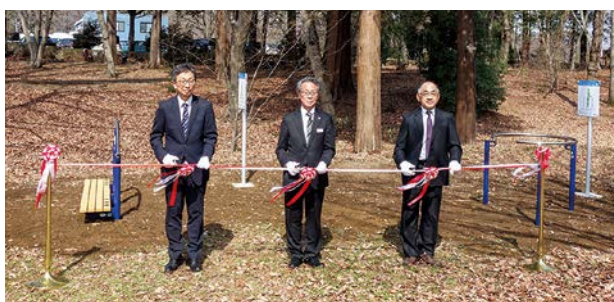
健康づくり課

どに、多数の来場者の皆さんも魅了されました。今回開催された、スポーツ・文化大会で優秀な成績を収めた選手と、シルバー作品展の優秀受賞作品は、栃木県代表として十月十八日から岐阜県で開催される第三十七回全国健康福祉祭ぎふ大会（愛称・ねんりんピック岐阜2025）に参加します。

栃木県選手団の皆様がどんなはつらつとしたプレーを見せてくれるのか、ご活躍を期待しています。

にはオープニングセレモニーを開催しました。関係者によるテープカットの後、職員による器具の使い方デモンストラクションが行われ、来場者の皆さんが実際に器具を体験し、笑顔あふれる時間となりました。今回の健康器具設置が、地域の皆さまの健康意識の向上や運動習慣づくりのきっかけとなることを願っています。

ぜひ、ウォーキングとあわせてご利用ください。



令和七年度

とちぎ健康福祉協会事業計画

I 事業運営方針

令和七年度は、二年目となるとちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）を引き続き事業運営の中核に据え、「私たちは、誰もが自分らしく、希望を持って笑顔いっぱいに生きられるよう、共に歩んでいきます。」の基本理念のもと、「安全安心で良質なサービスの提供」、「やりがいと誇りを持てる職場づくり」、「地域社会への貢献と信頼構築」、「健全で堅実な経営」の四つの基本方針に基づき、各施設等における事業を着実に推進していく。

II 重点事項

令和七年度は、次の事項について重点的に取り組む。

1 安全安心で良質なサービスの提供

（1）福祉サービス利用者の人権の尊重
職員教育、研修の実施により、職員への倫理教育の徹底を図るほか、利用者支援の自己チェックを行うことにより、虐待防止の徹底を図る。

（2）社会福祉施設のサービスの質の向上と利用者や家族等の満足度の向上
福祉サービス第三者評価結果や地域連携推進会議等を活用し、自らの支援について振り返ることで、サービスの質の向上を図るとともに、利用者や家族等との意見交換によりニーズの把握に努める。

（3）指定管理事業の着実な実施
「とちぎはつらつプラン21（九期計画）」や「とちぎ健康21プラン（三期計画）」に沿った事業を着実に実施するとともに、利用者等のニーズにきめ細やかに対応し、県民サービスの一層の向上を図る。

（4）事業継続マネジメント（BCM）の実践
有事においても事業が継続できるよう事業継続計画（BCP）に基づいた、緊急時に備えての実践的な訓練を各施設等において継続実施する。

2 やりがいと誇りを持てる職場づくり
（1）多様な採用活動による人材確保
人材の確保に向けて、オンライン説明会、インターンシップ及び学校訪問や実習生受入れの充実、リクルートサイトやSNS等の活用等、引き続き多様な採用活動を展開していく。

（2）働きやすくやりがいのある職場づくり
職員一人一人が働きやすく、やりがいを持てるよう職場環境改善を推進するため、風通しの良い職場づくりに向けた行動計画を策定するとともに、物価上昇、最低賃金の上昇、職員採用状況の悪化等に対応するため引き続き給与制度の見直しを行う。また、適正な労務管理を図るため、勤怠管理システムの運用を着実に進め、同時に、各種休暇申請手続き等の電子化や、福祉施設におけるICTや介護ロボット等の導入を推進する。

（3）キャリアパス制度に基づく人材育成の推進
人材育成にあたっては、キャリアパス制度の運用により、職員のモチベーション向上を図るとともに、新たに作成した研修制度に基づき、体系的な人材育成を推進する。

3 地域社会への貢献と信頼構築
（1）地域との連携と地域貢献
各施設等のホームページやSNSを最大限に活用し、積極的に法人や各施設等の魅力を発信する。また、施設の人的スキルや設備等の機能を活用して地域貢献を果たすとともに、災害発生時における施設機

（2）地域社会への貢献と信頼構築
各施設等のホームページやSNSを最大限に活用し、積極的に法人や各施設等の魅力を発信する。また、施設の人的スキルや設備等の機能を活用して地域貢献を果たすとともに、災害発生時における施設機

令和7年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算

(自) 令和7年4月1日
(至) 令和8年3月31日

(単位：千円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
事業活動による収入	児童福祉事業収入	206,624	173,125	33,499
	保育事業収入	256,782	240,110	16,672
	就労支援事業収入	29,707	30,423	△716
	障害福祉サービス等事業収入	1,815,537	1,744,075	71,462
	指定管理者事業収入	610,280	610,874	△594
	高齢者生きがいづくり支援事業収入	93,415	93,126	289
	借入金利息補助金収入	6	8	△2
	経常経費寄附金収入	37	37	0
	受取利息配当金収入	2,016	1,620	396
	その他の収入	80,849	44,035	36,814
	事業活動収入計(1)	3,095,253	2,937,433	157,820
	人件費支出	1,915,566	1,816,912	98,654
	事業費支出	541,070	531,429	9,641
	事務費支出	525,452	522,673	2,779
	就労支援事業支出	27,453	28,914	△1,461
	支払利息支出	5,537	5,768	△231
	その他の支出	2,692	3,673	△981
	事業活動支出計(2)	3,017,770	2,909,369	108,401
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	77,483	28,064	49,419
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	146,350	2	146,348
	固定資産売却収入	1	0	1
	施設整備等収入計(4)	146,351	2	146,349
	設備資金借入金元金償還支出	46,658	46,659	△1
	固定資産取得支出	352,105	24,877	327,228
	固定資産除却・廃棄支出	1	99	△98
	ファイナンス・リース債務の返済支出	11,354	13,712	△2,358
施設整備等支出	施設整備等支出計(5)	410,118	85,347	324,771
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△263,767	△85,345	△178,422
	積立資産取崩収入	310,801	24,501	286,300
	拠点区分間長期借入金収入	200,000	0	200,000
	事業区分間繰入金収入	14,199	23,528	△9,329
	拠点区分間繰入金収入	142,891	115,960	26,931
	サービス区分間繰入金収入	17,456	14,180	3,276
	その他の活動による収入	0	606	△606
	その他の活動収入計(7)	685,347	178,775	506,572
	積立資産支出	106,214	108,317	△2,103
その他の活動による収入	拠点区分間長期貸付金支出	200,000	0	200,000
	事業区分間繰入金支出	14,199	23,528	△9,329
	拠点区分間繰入金支出	142,891	115,960	26,931
	サービス区分間繰入金支出	17,456	14,180	3,276
	その他の活動による支出	4,457	4	4,453
	その他の活動支出計(8)	485,217	261,989	223,228
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	200,130	△83,214	283,344
	予備費支出(10)	53,500	53,500	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△39,654	△193,995	154,341
前期末支払資金残高(12)		682,220	736,277	△54,057
当期末支払資金残高(11)+(12)		642,566	542,282	100,284

- 能を開放すること等により、地域での安全安心への貢献を果たす。
- 4 健全で堅実な経営
- (1) 法人理念の浸透
組織目標立案や階層別研修等により法人理念に触れる機会を創出し、その浸透を図る。
- (2) 健全で安定的な財務基盤の確立
社会福祉施設においては、行政、相談支援事業所等関係機関との連携により、適切な利用調整及び積極的な利用者受入れを推進し、稼働率向上を着実に達成する。
- (3) 新たな事業・サービスの展開
障がい者支援センターふれあい及びグループホームボブラの建替整備については、防災機能の付加やグループホーム定員
- の増による機能の充実を実現するため、令和七年度中の完成に向け推進するとともに、労働人口減少等の社会情勢に対応するための事業展開を検討する。
- (4) コンプライアンスの徹底
研修や会議を通じてコンプライアンス教育を図るとともに、公益通報相談窓口の設置検討を進める。
- (5) 情報管理の徹底
SNS対応指針策定や個人情報情報の適切な取扱いに関する自己チェックリスト実施等を検討し、組織的な個人情報管理を図る。
- (6) 業務の効率化
ICT機器の活用や業務の自動化等によりDXを推進し、時間外勤務の縮減及び利用者支援の充実を図る。

とちぎ健康福祉協会役員名簿

(令和7年6月2日現在)

評議員

氏名	所属
関根 房三	栃木県社会福祉協議会 会長
桶田 正信	栃木県老人クラブ連合会 会長
麦倉 仁巳	栃木県身体障害者団体連絡協議会 会長
島田 次秀	栃木県民生委員児童委員協議会 会長
和久千夏子	栃木県手をつなぐ育成会 副会長
浜野 修	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長
山形 崇倫	栃木県立リハビリテーションセンター理事長兼所長

理事

氏名	所属
小川 俊彦	とちぎ健康福祉協会 理事長
梁木 達夫	とちぎ健康福祉協会 常務理事総務福祉部長
松村 誠	とちぎ健康福祉協会 常務理事生きがい健康部長
花本 哲也	とちぎ健康福祉協会 総務福祉部総務課長
鱒渕 史雄	とちぎ健康福祉協会 桜ふれあいの郷所長
小室 悦子	とちぎ健康福祉協会 宝木保育園長

監事

氏名	所属
大橋 哲也	栃木県国民健康保険団体連合会 常務理事
増山 雄貴	増山公認会計士事務所 公認会計士・税理士

健康の森 ワンポイントアドバイス

熱中症予防

熱中症とは、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態をさします。

屋外だけでなく室内で何もししていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状

- めまい □立ちくらみ
- 生あくび □大量の発汗
- 筋肉痛 □筋肉のこむら返り
- ← 症状が進むと
- 頭痛 □嘔吐
- 倦怠感 □判断力低下
- 集中力低下 □虚脱感

熱中症の主な応急処置

- 経口補水液を補給
- 衣服をゆるめ体を冷やす
- 涼しい場所へ避難



こまめに



地球温暖化の影響で長く暑い日本の夏、その日の体調の変化に気をつけて熱中症を予防しましょう。

*自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう。

室内でも熱中症予防

暑さを感じなくても室温や外気温を確認し、エアコン等を使って温度調節するよう心がけましょう。

暑熱順化スイッチ ON 暑さになれる ↓ 早く汗が出る ↓ 体温上昇ストップ

人間は多少ですが、暑さに慣れることができます。これを暑熱順化といいます。暑くなる前に身体を熱中症対応モードにして、暑さに強い身体を作りましょう。

暑熱順化トレーニング

ポイントは、汗をかくこと。運動や入浴など、日常生活の中で行えます。歩く・走る・自転車・筋力トレーニング・ストレッチ・入浴・サウナなど数日から二週間程度で、身体を暑さに慣れさせることができます。

育児等に係る制度を拡充しました

育児介護休業法等の改正に伴い、働きやすい職場環境を目指し、令和七年四月から育児等に係る制度を拡充しました。

○柔軟な働き方を実現するための措置

【対象者】

三歳から小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員

【内容】

次のいずれか一つを選択

①養育両立支援短時間勤務

一日の勤務時間を原則六時間

②養育両立支援休暇

一の年度で一〇日の範囲内の期間（特別有給休暇）

○所定外労働の制限（残業免除）の対象を拡大

小学校就学前の子を養育する職員（改正前は、三歳に満たない子）

○子の看護休暇の見直し（看護等休暇）

【対象者】

小学校三学年修了までの子を養育する職員（改正前は、小学校就学前）

【取得事由】

・負傷や病気にかかった子の世話

・予防接種や健康診断

・感染症に伴う学級閉鎖等になった子の世話（追加）

・入園（入学）式、卒園式の参加（追加）

【取得日数】

一の年度において五日（小学校三学年修了までの子が二人以上の場合にあっては、一〇日）

